

広島県経済の動向

令和5年9月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	6月	7月	8月
基調判断	景気は、緩やかに回復している		
輸 出	底堅い動きとなっている		このところ持ち直しの動きがみられる
生 産	持ち直しの兆しがみられる		
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	このところ改善の動きがみられる		改善の動きがみられる
個人消費	持ち直している		
住宅建設	底堅い動きとなっている		おおむね横ばいとなっている
企業収益	総じてみれば緩やかに改善している		

(2) 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和5年8月28日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	5月	6月	7月
基調判断	持ち直している		
輸 出	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある		
生 産	持ち直しのペースが鈍化している	緩やかながら持ち直し基調にある	
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	緩やかに回復している		
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、海外経済の動向などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和5年8月4日公表）】

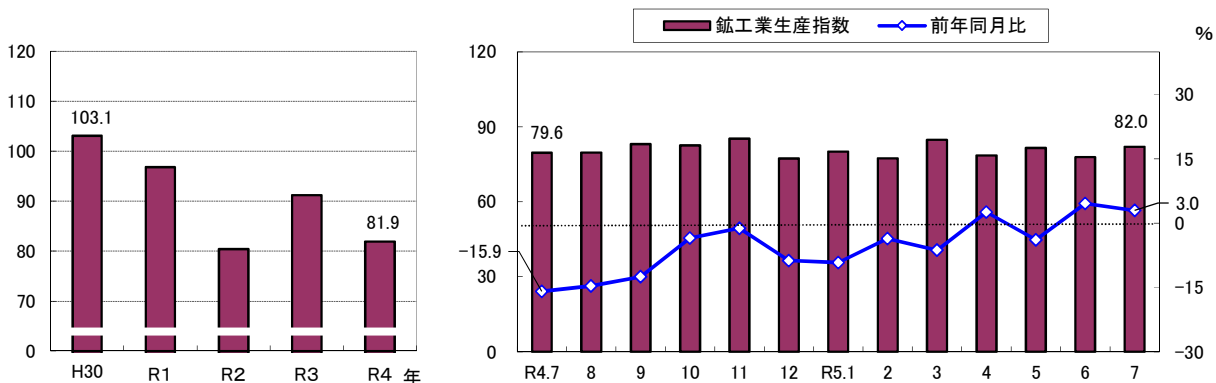
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和5年7月)

7月の鉄工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年=100)は82.0で、前年同月比で3.0%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

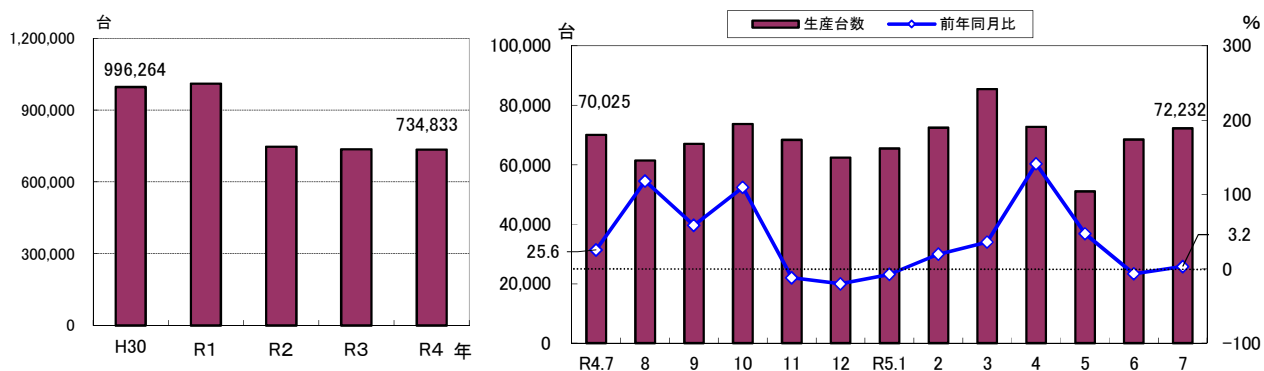


2 自動車(令和5年7月)

7月の国内生産台数は72,232台で、前年同月比で3.2%増加となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

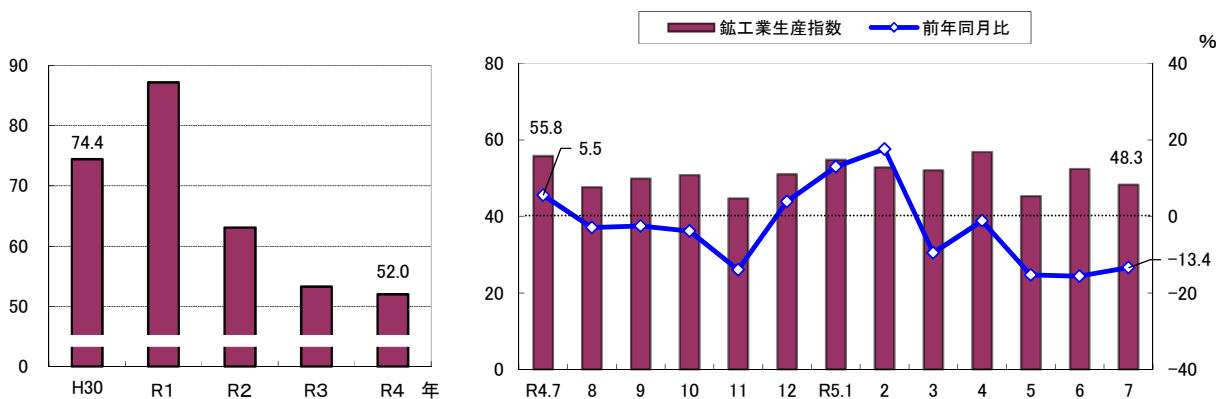


3 造船(令和5年7月)

7月の鉄工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、平成27年=100)は48.3で、前年同月比で13.4%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

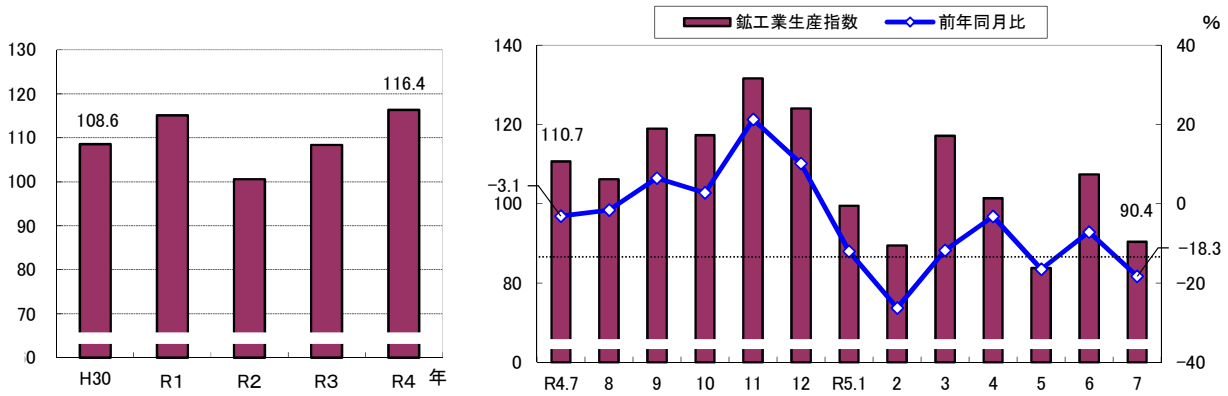


4 一般機械(令和5年7月)

7月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は90.4で、前年同月比で18.3%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

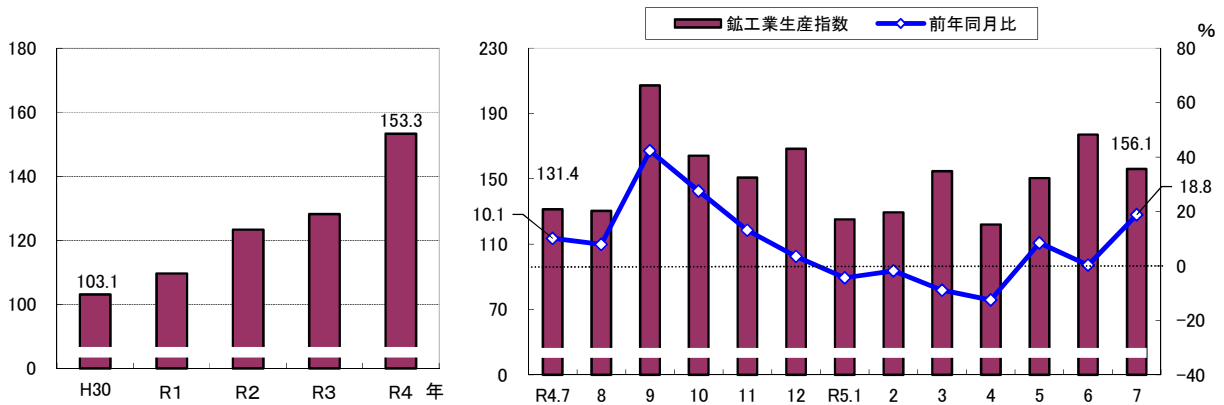


5 電気機械(令和5年7月)

7月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は156.1で、前年同月比で18.8%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和5年7月)

【広島県中小企業団体中央会（令和5年8月15日時点）】

1 概況

原材料、燃料、電気代、運賃等のコスト上昇分を十分に価格転嫁できず、中小企業は厳しい収益状況に置かれている。加えて、深刻化する人手不足の影響もあり、中小企業を取り巻く経営環境は先行き不透明感が強い。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比+8.5%と11ヶ月連続で増加。マツダ車は前年同月比+1.8%となった。

また、木材業界では、全国の令和5年7月の新設住宅着工戸数は68,151戸で前年同月比▲6.7%。広島県内の着工戸数は1,239戸で、対前年同月比▲27.9%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「7月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は7月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	6月の景況感	7月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	悪い	普通
木材	悪い	悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	普通
金属製品	普通	普通

業種	6月の景況感	7月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	普通	やや悪い
自動車部品	普通	普通
造船	普通	やや好況
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	6月	7月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	1	1
普通	9	8	▲1
やや悪い	8	9	1
悪い	3	2	▲1

3 前月(6月)から変化のあった主な業種

業種	6月の景況感	7月の景況感	変化の理由・状況
繊維・衣服	悪い	普通	・少しずつではあるが、交渉次第で取引条件が良くなっていると思われる。 【山陽テクノ協同組合】
電気機械器具	普通	やや悪い	・売上は前月比+3%、前年同月比▲5%となった。産業用機械・産業用ロボット・工作機械等、製造業向け受注が低調で、機械、部品ともに売上は低調に推移している。 【広島県東部機械金属工業協同組合】
造船	普通	やや好況	・県内、2,500総トン以上の令和5年6月の船舶建造許可実績は4隻、214,490総トンであった。(前月0隻。前年同月2隻114,250総トン)なお、内訳は輸出船が4隻で、貨物船3隻、油槽船が1隻であった。 【中国地区造船協議会】

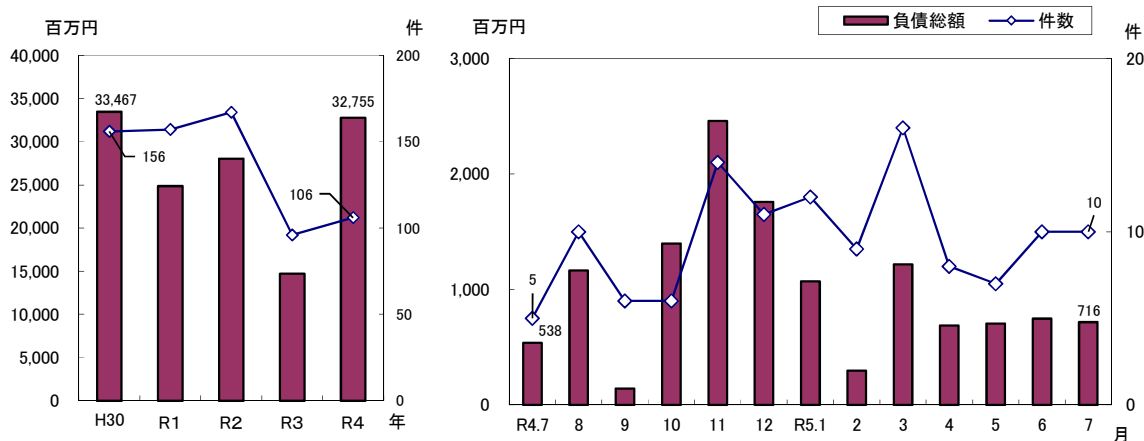
IV 企業倒産状況(令和5年7月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が10件、総額7億1,600万円であった。
- ・前月比で件数は横ばい、負債総額は3,200万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は5件増加し、負債総額は1億7,800万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
件数 (前年同月比)	7件 (22.2%減)	10件 (16.7%減)	10件 (100.0%増)
負債総額 (前年同月比)	704百万円 (64.1%増)	748百万円 (96.4%減)	716百万円 (33.1%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、サービス業が4件、卸・小売・飲食業が3件、製造業、建設業、運輸・通信業が各1件となった。

負債総額では、サービス業、運輸・通信業、卸・小売・飲食業、製造業、建設業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が9件、既往のシワ寄せが1件であった。

4 今後の見通し

令和5年7月度の倒産件数は10件となり前年同月比では4ヵ月ぶりに増加した。

業歴別倒産状況では30年以上が2件、20年以上30年未満が1件、10年以上20年未満が2件と業歴10年以上の倒産が全体の50.0%を占め、前月6月度では業歴10年以上の倒産が全体の80.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が9件で最多となり、既往のシワ寄せは1件、売掛金回収難は無かったが、これらを合計した不況型倒産は10件で全体の100.0%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は7月度10件中4件発生し、これまでの累計は149件（負債総額1,000万円以上）となり、コロナ禍で体力が落ちた企業がロシアのウクライナ侵攻や円安、物価高を背景とした原材料や燃料費の価格高騰に対応できず、倒産に至っているケースが散見される。

コロナ禍の支援策として、持続化給付金や雇用調整助成金、特別家賃支援給付金など給付型支援で抑制されていた倒産が支援策の打ち切りと共に徐々に露呈されており、競争力に乏しい企業では業績回復の目途が立たない状況が続いている。ただ、金融庁から金融機関へ寄り添った支援をするように指示が出ており、経営者次第では融資や支援を受けられることから近年の倒産が抑制されている背景もある。こうしたなか、代表者の高齢化や先述の通り、ロシアのウクライナ侵攻や円安、物価高など経済情勢の悪化を受けて諦め型の倒産が出ているのも実情である。

新型コロナウイルス感染症が発生して時が経ち、ワクチンや医療体制が構築され、5類に分類されたことで、もはやコロナ禍ではないと認識する企業が増えているが、複合的な要因による更なる経済情勢の悪化が見受けられ、企業経営では予断を許さない状況が続いている。時代の移り変わりによる需要の変動や大手企業との競争激化など中小企業にとっては厳しい状況であることは否めない。

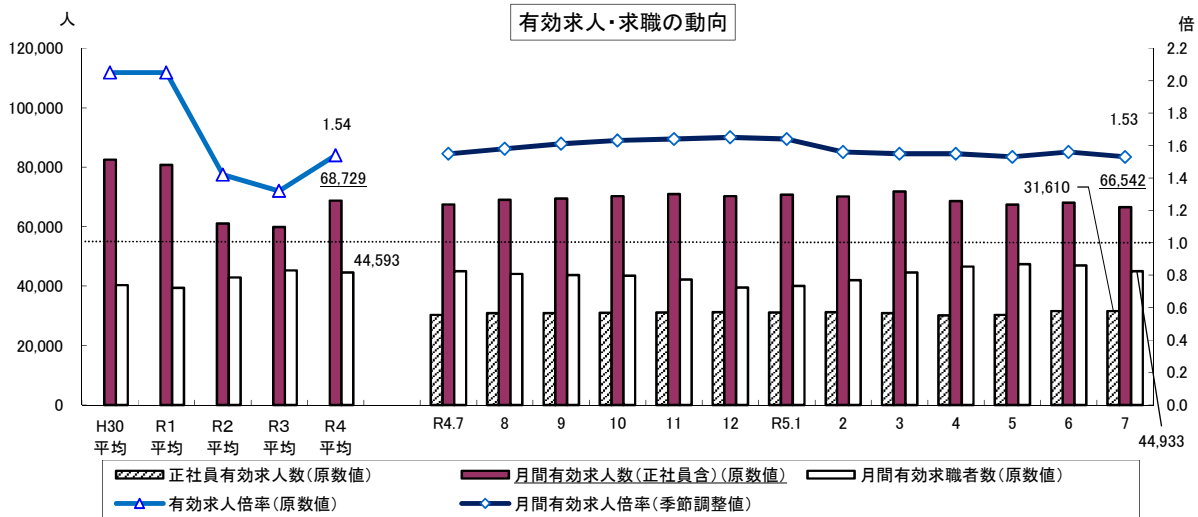
【(株)東京商工リサーチ(8月4日時点)】

V 最近の雇用失業情勢(令和5年7月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
有効求人倍率(季節調整値) (前月比)	1.53倍 (▲ 0.02ポイント)	1.56倍 (+0.03ポイント)	1.53倍 (▲ 0.03ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.10倍 (+0.05ポイント)	1.16倍 (+0.07ポイント)	1.19倍 (+0.04ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

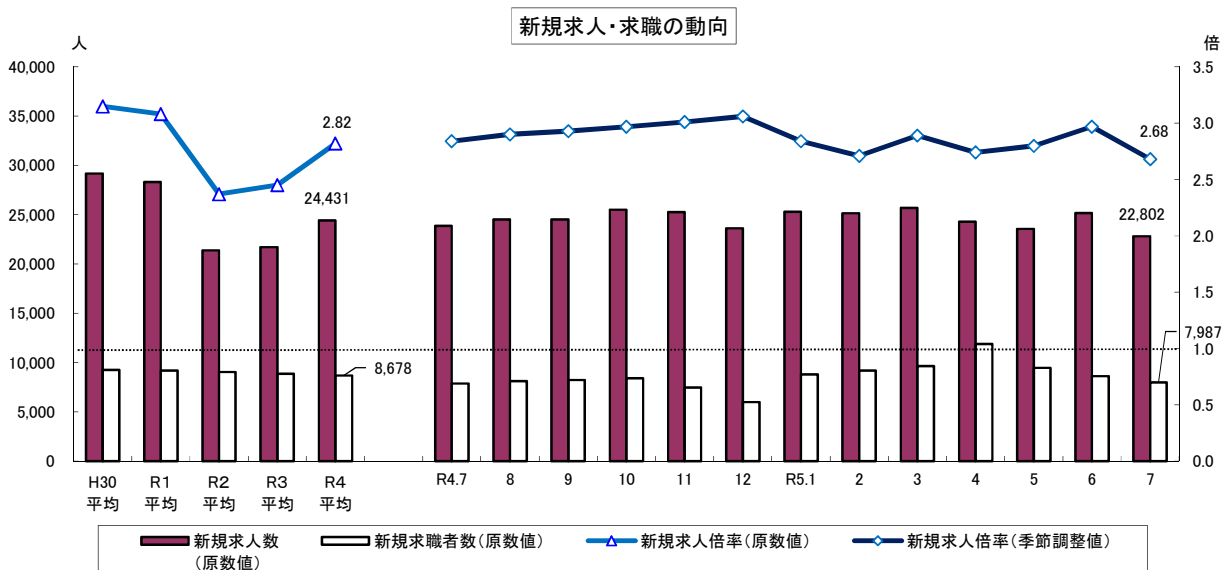
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
新規求人倍率(季節調整値) (前月比)	2.80倍 (+0.06ポイント)	2.97倍 (+0.17ポイント)	2.68倍 (▲ 0.29ポイント)

【広島労働局】

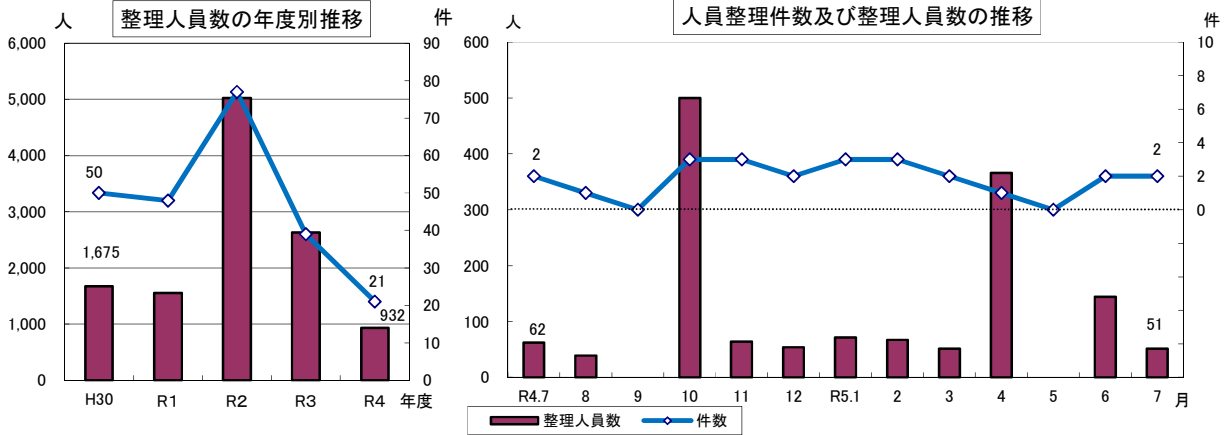


(注) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
件数 (前年同月比)	0件 (± 0件)	2件 (+ 2件)	2件 (± 0件)
整理人員 (前年同月比)	0人 (± 0人)	144人 (+ 144人)	51人 (▲ 11人)

【広島労働局】

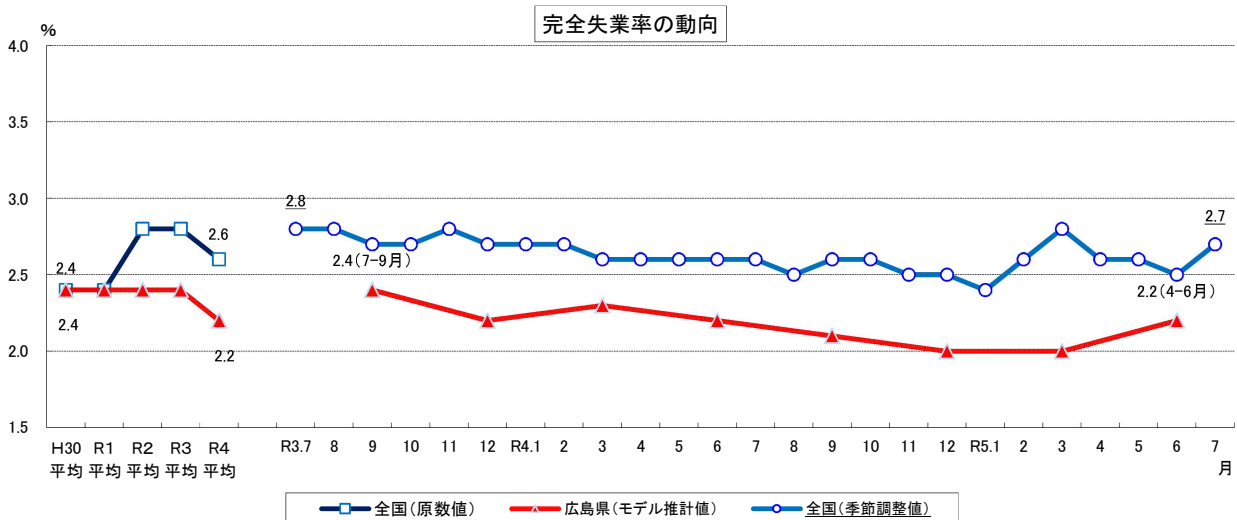


4 完全失業率の状況(全国・県内)

区分	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月
全国完全失業者数 (前年同月比)	188万人 (▲ 3万人)	179万人 (▲ 7万人)	183万人 (+ 7万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (+0.0ポイント)	2.5% (▲ 0.1ポイント)	2.7% (+0.2ポイント)

区分	令和4年		令和5年	
	10~12月平均	1~3月平均	4~6月平均	
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.0% (▲0.2ポイント)	2.0% (▲0.3ポイント)	2.2% (±0.0ポイント)	

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。